

おひなさまがお出迎え

東高野街道沿い彩る



ひな人形を見て楽しむ河上さん夫婦

3月3日～11日に「第7回八幡まちかど雛まつり」が開催され、八幡市駅前観光案内所から松花堂庭園・美術館までの東高野街道沿いがひな人形で彩られました。



和菓子屋で飾られるもちつきなどをするひな人形

このイベントは、同街道沿いの活性化を目的に、東高野街道八幡まちかど博物館協議会が主催。お店やお寺、施設など57カ所が協力し、ショーウィンドウなどに飾り付けました。平昌オリンピックにちなんでカーリングなどの競技を行う人形や、和菓子屋でもちつきをする人形など、来場者を楽しませるため、各所で最近の話題や場所に関連したシチュエーションを折り込んだ展示が行われました。

緑道に建てられた一坪茶室



空中茶室!?!でお茶会

男山第二中生と卒業生 お点前を披露

3月10日、「緑道deお茶会」が地域包括ケア複合施設YMBTで開催され、約150人が参加しました。

男山地域では地域の再生を目的に、関西大学とUR都市再生機構、市が協働でプロジェクトを実施しています。その一環として、「お茶の京都」にもちなみ、お茶会を通じて地域住民の交流を図ろうと、だんだんテラスと男山やってみよう会議プロジェクトチーム、男山第二中学校校区学校支援地域本部が同

会を主催しました。緑道には、かつて男山にあったとされる空中茶室「閑雲軒」をモチーフに同大学の学生たちが制作した懸造りの一坪茶室を設置し、男山第二中学校の生徒と卒業生がお点前を披露し、参加者たちをおもてなしました。また、テーブルと椅子を使用する立礼式の茶席や、夢プロジェクトチームによるワークショップも開催され、参加者は男山の自然を感じながら、イベントを楽しんでいました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

東日本大震災から7年、阪神淡路大震災から23年が経ちました。地域住民の防災意識の向上を目的として、くすのき地区で3月4日、美濃山地区で11日に防災訓練が行われ、各地区合わせて約900人が参加しました。同訓練は東南海・南海地震の発生を想定して実施され、各地区自治連合会が毎年主催しています。

住民ら連携 防災訓練

また、美濃山地区では、煙体験ハウスで煙の中を歩く体験やバケツリレーでの消火活動が行われ、住民同士で協力し合いながら訓練に取り組んでいました。



バケツリレーでの消火訓練を行う参加者(美濃山小学校)

新1年生をおもてなし

中央小で入学前交流

3月5日、中央小学校で、1年生47人と、南ヶ丘保育園と南ヶ丘第二保育園の年長組の園児28人が、遊びを通して交流しました。

同交流は、来年度入学する園児を小学校に招待し、楽しみながら学校の雰囲気を覚えてもらうことを目的に、毎年行われています。

児童たちは、紙風船や竹とんぼなど8つの昔遊びのお店を用意。園児

たちはお店を順番に回り、遊びを楽しみました。

紙風船のお店では、空気が抜けないように優しく紙風船を飛ばしあったり、竹とんぼのお店では、児童が園児に竹とんぼを前に押し出す手の動かし方を教えたりしていました。

最後に、1年生の代表委員が「今日は楽しかったですか。4月から待っています」とあいさつすると、園児たちは大きな声で返事し、4月からの小学校生活に期待を膨らませていました。



紙風船で遊ぶ児童と園児

紙風船や竹とんぼ一緒に遊んだよ